

能性を多分に持つてゐるこいふ程度でございます。かういふ事は誰さんがしたけれどそれはいい事だから自分もしやう、かういふ事は悪い事だから自分はしない様にしやう、すぐ、自分に引き較べて反省する事が出来ると思はれます。

又同年輩の子供と團體生活をするのですから、自分のしたい事ばかりも出来ません、多少なりとも我儘を抑へなければなりません、つまり我儘がなほる事になります。

以上の様に同年輩の子供と共に生活するこいふ事は、本當に意味のある大切な事だと思ひます。そして幼稚園の特長の大部分はこの中に含まれてゐるを考へられます。

さて、今度は別な立場から考へて見ます、親としての

## 雑感

数多い女兒をもちながら誠に運あしく、お茶水の學園には、これまで遂に御縁がございませんでした。せめて最後

立場からは親馬鹿、井の中の蛙の例に洩れず、幼稚園へ上げる前までは、自分の子供が總ての點で外の子供より勝れてゐるを考へて居りましたが、大勢の中に出して見て、他の子供と比較して、はじめて外の子供の勝れた點、自分の子供の勝れた點なきが分り、自分の子供の位置(その年頃の子供として勝れてゐるか普通だとかいふ程度)がはつきりして、なほ一層親として心掛けなければならぬこいふ事が分ります。以上の如く、哲彦の幼稚園生活に依つて、哲彦が又哲彦を通じて母親が、如何に教へられたかこいふ事を考へるに今更ながら、幼稚園の御骨折の大きい事を思ひ深く感謝いたして居る次第でございます。

### 一 幼兒の母

の一人でも、きうかしてこの系統的に一貫した女子教育を受けさせたいものこの、兩親の切なる望をもつて、昨年

春女子高等師範學校附屬幼稚園を志願致させました。「第二部入園許可」の御通知を受取りました時は、積年の念願が最後に叶つた嬉しさありがたさで、當の子供よりも、むしろ両親の胸は眞にいつばいでございました。

かねて切望してゐました第一部にはつれたこは、系統的にさいふ點については、大半の望を失つたわけでございますが、そんなこなき露ほぎも知らぬ子供は、やがて喜び勇んで登園致しました。

「世界」だき稱せられてゐるだけに、帝都の學校街としての理想の地で、あたりの眺め亦實に美しく、日當りさひひ、内外の完全な設備さひひ、ほんたうに氣持のよい幼稚園でございます。

お玄関を入るこ、まづニコ／＼顔の倉橋をぢさんをはじめこして、晴れ々々さしたお顔の多くの先生方から、給仕さん・小使さんに至るまで、みなニコ／＼して毎日迎へて下さいます。この多くの先生方は、全部倉橋をぢさんのお弟子ばかりさ伺ひ、さてこそあの暖いお心持、なごやかな空氣が、すみ／＼までもみなぎりあふれ、たこへやうの無

い融和の美しさ尊さがこ、一しほ深く感ぜられました。

このなごやかな一大樂園で、一人々々があたゝかい先生方のお手にいだかれ、親しい多くのお友達さ、さも嬉しうに、眞の幼兒の生活を樂しんでゐる吾が子の姿を見出しました時、或は嬉々として遊ぶ雛鳥の様に、或は又スク／＼と思ふがまゝに伸びて行く、春の若草の様な氣が致しまして、われながらうつこりこ、このうるはしい状態に見られて、吾が子の幸福を感謝するの實感を味はせていたゞいて居ります。

夢のやうに一年はたちました。この間に極めてせまい範圍ながら、吾が子を通してながめましたつまらぬ感想を、思ひつきましたまゝ左に二つ三つ。

### 一、眞のお友達

一番末子で、すぐ上の姉さでも年齢の差がかなりひびく、近所にも適當なお友達が殆んど無いさいふ、淋しい境遇に育ちました關係上、幼稚園に通ふやうになりました、まづ子供を著しく動かししましたこは、何と申しましたも、同年輩のお友達を得た喜びだつたさ思ひます。入園前は友

なきこを、ふびんに思ひ、出来るだけお友達になつたつもりでゐました親心も、これには遠く及ぶすべもなく、真に求めてゐましたものは、自然の友でございました、日々お友達のふえることが非常な喜びで、「今日は誰さん」、誰さんかお友達になつたのよ。「今日は大きい組の方もお友達になつて遊んだのよ。」「わたしのお友達もう随分あるの。三十人ぐらゐるらしいの。」「茂子ねえさまのお友達いく人位あるの。」「いふ様なほこりかな報告を、毎日のやうに聞かされました。

先生にほめられたさか、倉橋をぢさんとお話をしたさか、いふこが、さても嬉しいらしく見えます。主事先生のこを倉橋をぢさんお申して親しんでゐます。新年に「オメデタウ」。さかいふ年始状をさしあげましたら、「クラハシラヂサンカラ」「いふおはがきがまゐり、あゝ倉橋をぢさんから喜んで、そのおはがきを家中のものに見せてまはりました。

登園がはじまつてから、子供の様子をじつと観てゐます。こ、實に不思議なほこ幼稚園は楽しいところに見えます。

そのくせ幼稚園いふ言葉はあまり口には致しませぬが、毎朝起きるさか幼稚園の事を想像するらしく、眼をくりくりさせながら、支度を急ぎます。この頃から自尊心が手傳つて、「二人でお支度よ」。が自慢でございましたが、寒くなるさ一人ではいやさうに見えます。

ある時なご足を痛めて二三日歩けなくなりましたが、「お椅子に腰かけて、お友達のお遊びを見てゐるから、行きたい」。さ私を困らせたさかもございました。

## 二、社交性のめざしにつれて

外部のお友達が少く、家庭ばかりで育ちました吾が子は、親の罪ださ思ひますが、随分内辨慶で、我が強く、神経質も多分に見えてゐました。

かつて倉橋先生より、入園の最初に母親への御注意として、「幼稚園は子供同志が、ちやうさお芋が洗はれてゐるやうに、お互にすれあつてみがゝれるさかだ。」「いふお話がございましたが、一年たつた今日、吾が子の變り方を観て、この感じが如實に味はれます。

子供は善きにつけ、悪しきにつけ、種々の特徴を持つた

お友達に接して、廣い子供の世界を見せていたゞくこころを、むしろ不思議な眼で興味を持つと同時に、お互に洗はれてゐるお辛になりきつて、泣いたり、笑つたり、怒つたり、喜んだり、あらゆる幼児の社會生活を樂んでゐます。

おかげで今日は、神經質もだん／＼うすらぎ、誰こでも陽氣によく語るやうになり、時々とても面白くふざける餘裕さへ出來てまゐりました。お友達が、お父様さいらつしやるのを見て、時々「お父様、いつしよに行きませうよ。」と父を誘ひますと、父親も折角の懇望もだしがたく、遂にお伴をしたこころもございました。それ以來こころに父親に親しみ、一所に凧あげに行つたり、書齋に入つて話し込んだりする様になりました。これ等は私の家庭に於きましては變つた現象でございます。

幼稚園で習つた遊戯や唱歌をうちのものに教へます。すぐ上の姉が面白く相手になるこころ、何度でもいたします。こんな時一番早く失格するものは私で、「お母様は調子はづれだから駄目よ。」としかられます。全く子供共調子を合せるこころはむづかしいものだこころ存じます。こんな有様で家庭が

全く幼稚園の延長ミ化し、父親までが仲間入りして、家内で樂しみます。

今までは家庭に於て「お友達にいちわるをしてはいけませんぬ。」とか、「あまりわからずやになつてはだめだ。」とか、消極的な方面に力を入れましたが、入園後はさうも遠慮ぶかく、生氣の無い状態に見えましたが、受持の先生の御注意をいたゞくと共に、家庭に於ける方針をたてかへました結果、大分効果が見えてまゐりましたが、この點はあこころ一年の生活のうちこころ、尙一層の期待をもつてゐます。

### 三、人間教育の基礎をめぐりに

入學難のさけび聲高い今日、上級學校への準備に子を持つ親のなやみは、みな同じく、吾が子の將來につき亦一抹の憂ひを消すわけにはまゐりませぬが、すべて現代の學校教育が、理智主義の迷路にすべり込んで、もがいてゐる際に、理想の旗を高くかゝげて、一人々々の特性を強く雄々しく育み伸ばして、身體、人間の基礎教育にこころ、全力を打込んでいたゞいてゐるのでございます。その保育法は實に自然的で、ちゃんこ系統的な腹案が、おありになつても少しの

無理がございませぬ。メンタルテストの如きも、室内、運動場なき隨所で個人々々につき、生活に織込んで行はれてゐるやうで、素人の私共にも實に胸のすつきりするやうな保育法に見えますが、又それだけに先生方の御苦心は非常なものと思はれます、この二年間を通じて、この融和の樂園に育つ幸福をしみじく感ずるに同時に、二部さいふ悲しさで、ずつこのまゝ生ひ立つこの出来ない場合を想ふ時は、一層お別れが悲しく思はれます。然し今後如何なる方面に向ひましても、この樂園で培はれた尊い芽生えは、無限の思出感謝の泉となつて、いさし兒の胸に常に湧きいつることでございませう。

#### 四、母親の教育に

毎日の送り迎へを重ねるにつれ、いさしき愛兒の母でありながら、眞の母、よき母となることの至難さをつくづくと思ふ毎に、幼稚園の尊い使命の一として、母親の教育をも具體化していたゞきたいと存じます。愛兒が日々受けてゐる保育状態に接する毎に、子に教へらるゝ自己の姿を内省して、一層この感を深く致します。これやがて幼兒の幸

福を増進し、又保育の目的を助成すべき力となるものかも存じます。私は結婚期にある娘には、やがて來るべき時のために、保育の心得をもたせて置きたいとさへ思ふやうになりました。

#### 五、お辨當はみな同じものに

幼稚園にまゐるやうになりまして、「お十時」の當然なくなつたことは、大へん結構に存じます。この時代は、身體方面の發育が特に盛んなわけですが、一面偏食の子供がかなり多いかも存じます。この時代の子供に適する様榮養食の加味されたお辨當がみな一樣にならべられて、談笑のうちにおいしくいたゞくことになりまして、偏食の弊も自然のうちに矯正されて、或はよい結果を得られませうかも存じます。然しこれは設備の上からも、先生方の御骨折の點からも、なか／＼困難の伴ふものでございませうが、もし實現された暁には、幼兒の幸福を一層増進させることが出来るやうに存せられます。